

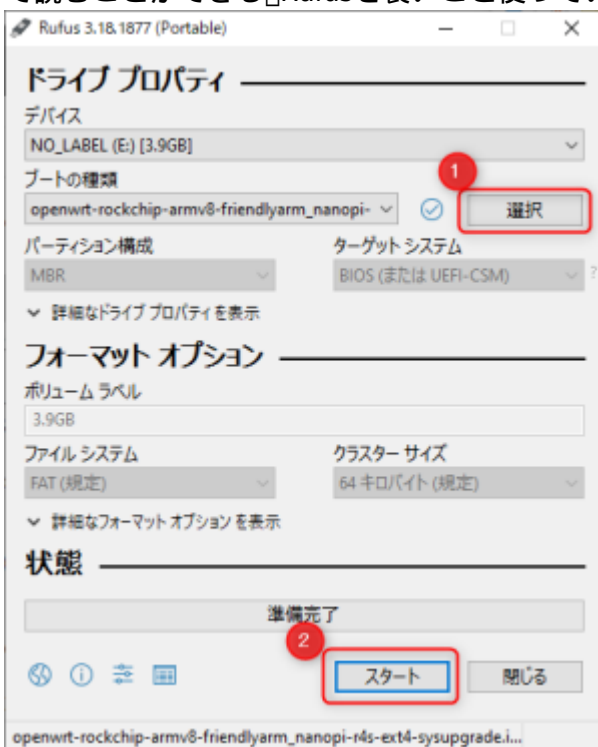
1.OSインストール

OpenWrtは市販の無線ルーターのファームウェアに偽装して書き込んだり等、機種によって異なるので、最初が最も大変なのだがNanoPi R4SはSDカードから起動する。従って、インストールも復旧も驚くほど簡単に済む。OpenWrtイメージは、主に下記3種類が存在する。

- FriendlyWrt NanoPi R4S製造元のFriendlyElecが提供しているイメージで、docker等がつかえるようにカスタム化されている。
[このページよりNanoPi-R4Sを選択、ダウンロードする](#)
- FusionWrt 中国のネットワークエンジニアが作ったカスタムイメージLEDEというちょっと前の古いバージョンからカスタムしまくったもの。とてもモダンでとても使いやすい。が、ソフトウェアライセンス違反に抵触するようなプラグインもインストールされているので、もし使用するには注意が必要。
[このページよりopenwrt-rockchip-armv8-friendlyarm_nanopi-r4s-ext4-sysupgrade.img.gzの最新版をダウンロードする](#)
- OpenWrtがリリースしているカスタムイメージ
[このページよりfriendlyarm_nanopi-r4s-ext4-sysupgrade.img.gzの最新版をダウンロードする](#)

上記3種類のうち上から2つは、とても残念なことにWireGuard(今注目されているVPN通信プロトコル)をインストールすることができない。恐らくベースとなっているOpenWrtのイメージが古すぎるからと思われる。なのでOpenWrtが提供しているバージョンを今回使用する。

インストールするには、それぞれのカスタムイメージをダウンロードしたのちRufusで書き込む。microSDカードは8GB以上あれば良い。Rufus ダウンロードしたファイル(img.gz)はそのままRufusで読むことができるRufusを長いこと使っていたが、今回初めて知った。あとは書き込めば完了となる。



From:
<http://www.deepsky.jp/wiki/> - うごくといいな

Permanent link:
<http://www.deepsky.jp/wiki/doku.php?id=memo:openwrt:basic1>

Last update: 2025/10/19 13:55



